

○ アドミッション・ポリシー ○

● 経済情報研究科 経済情報専攻(入学定員8名)

経済情報研究科は、大きく分けて経済学・経営学・情報科学の3つの研究分野を持ち、学部教育を踏まえ、より高度な研究と教育を行うとともに国際的な視野のもと、経済学・経営学・情報科学の新しい発展並びに地域経済の要望を踏まえた教育と研究に取り組んでいます。更に、国際社会への貢献並びに教育・文化の国際交流の一層の促進のために優秀な留学生の受け入れを積極的に行います。

このような教育理念のもと経済情報研究科は、経済学・経営学・会計学・税務ほかの諸領域において活躍できる専門的職業人及び研究者、高度な情報科学の修得に基づき経済学・経営学・会計学・税務ほかの諸領域において活躍できる情報分野の専門的職業人及び研究者を養成することを目的としています。

経済情報研究科は、ディプロマ・ポリシーならびにカリキュラム・ポリシーにおいて具体化された教育理念・教育目標に基づき、以下のような人を求めています。

- 1. 学士課程教育において、専門的知識・技能と、日本語および外国語によるコミュニケーション能力とを高めることで、日本や世界の諸問題の解決に寄与する能力を身につけている人
2. 学士課程教育において、経済・経営・情報の3分野に関する専門的知見を、人間・社会・自然に関する他分野の学問的知見と組み合わせることで、高度に情報化した現代経済社会の意味を探究する能力を身につけている人
3. 学士課程教育において、経済・経営・情報の3分野に関する専門的知識および基礎的技術を修得し、それらを活用して現代の経済社会を多面的に理解し、家庭・企業・地域等で活躍する能力を身につけている人
4. 本研究科で学修することによって、官公庁や企業において経済・経営・情報分野の指導者、海外で活躍する国際公務員や公共団体・民間団体の国際交流担当職員、地域の活性化に貢献する地域社会の指導者、税理士や公認会計士、経済学・経営学・会計学・情報科学等の分野の研究者を目指す人

● 日本文学研究科 日本文学専攻(入学定員6名)

日本文学研究科では、日本の文学と言語文化を総合的に捉えつつ、日本文学・日本語学・漢文学の発展的研究に取り組むことで、日本語、日本文学、日本の芸術文化を深く理解します。このような教育理念のもと、社会活動や文化活動において指導的役割を果たし、社会の発展に寄与する人材を養成することを目的としています。

日本文学研究科の教育理念・目的に基づいた、ディプロマ・ポリシーを満たし、そのためのカリキュラムに適應できる能力・適性をもった人として、日本文学研究科は以下のような人を求めています。

- 1. 大学の学士課程等において日本文学・日本語学・漢文学に関する基礎的な知識と研究方法を修得している人
2. 自分自身の研究テーマをもち、それを自らの力で探究しようという意志のある人
3. 本研究科での高度な学びを通じて、社会や文化の進展に貢献しようという意志のある人

● 美術研究科 美術専攻(入学定員12名)

美術研究科の教育理念は、個々人の資質を尊重し、それぞれの学生が表現者としての立脚点と方向性を模索しながら、研究科教員と学生とのコミュニケーションを軸に、自己表現へ向けた研究を展開させていくことです。このような教育理念のもと、美術における専門家として持続的な創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を輩出することを目的としています。

美術研究科は、研究科の教育理念・目的に基づき、以下のような人を求めています。

- 1. 専門分野の基礎的な知識や技術を修得し、様々な分野の考え方や理論を吸収した上で、それらを展開して自己表現に結びつけることができる。
2. 自ら課題を発見し、その解決方法を模索した上で、研究テーマを明確に設定し、表現の可能性を持続的に探究できる。
3. 研究成果を社会に向けて継続的に発信し、他者との関わりの中で自らの表現力や創造性を高めることができる。



尾道市立大学大学院
ポリシーはこちら

尾道市立大学大学院

21世紀と共に歩む尾道市立大学は、時代の要請に対応し、高度な専門的知識・能力、

それに裏付けられた創造性・判断力、高い見識などの育成に特化した、

実践的な教育を行う大学院修士課程を設置しています。

本学修士課程では、学士課程教育で培われた専門的素養のもとに、

変わりゆく時代と地域社会の姿に応じた、より高次の学修と研究に取り組むことができます。

入学検定料・授業料

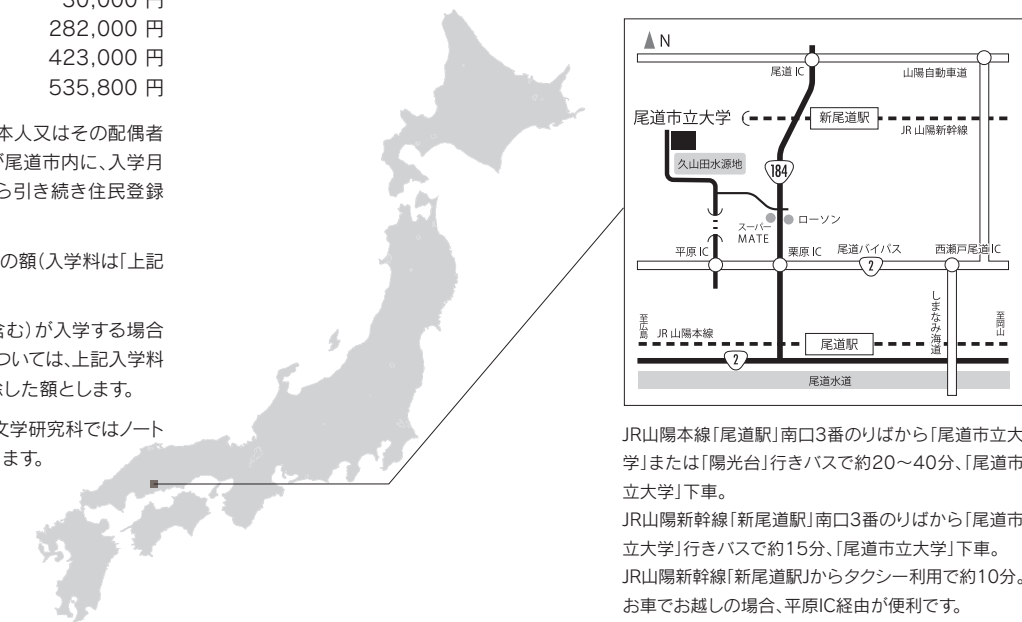
Table with 2 columns: Fee Type and Amount. Includes 入学検定料 (30,000円), 入学料 (尾道市内在住者 282,000円, 上記以外 423,000円), and 授業料 (年額 535,800円).

*「尾道市内在住者」とは本人又はその配偶者若しくは1親等の親族が尾道市内に、入学月の初日の1年以上前から引き続き住民登録をしている者です。

*外国人留学生は2分の1の額(入学料は「上記以外」の2分の1)です。

*本学学部生(卒業生を含む)が入学する場合の入学手続納付金については、上記入学料から282,000円を控除した額とします。

*経済情報研究科と日本文学研究科ではノート型パソコンが必須となります。



JR山陽本線「尾道駅」南口3番のりばから「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約20~40分、「尾道市立大学」下車。
JR山陽新幹線「新尾道駅」南口3番のりばから「尾道市立大学」行きバスで約15分、「尾道市立大学」下車。
JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシー利用で約10分。
お車でお越しの場合、平原IC経由が便利です。



公立大学法人
尾道市立大学
〒722-8506広島県尾道市久山町1600番地2
TEL 0848-22-8311 (代)



公式ホームページ



youtube



X



instagram

尾道市立大学
大学院
2025

Onomichi City University Graduate Program

Economics, Management & Information Science

Japanese Literature

Art & Design

□教育課程の特色

経済情報研究科

経済情報研究科では、次のような教育に重点を置いています。

- ・多様な専門知識とその実践的活用能力を備えた専門的職業人の養成
・他大学大学院の博士(後期)課程への進学を念頭においた研究者の養成

また本研究科は、教育研究の柱となる領域(分野)として、経済系、経営系、情報科学系の三つの分野で構成されています。現代経済社会を捉える基本的視点を確立するために、経済系・経営系の連携により現実の事象や問題を根底から理解する必要があります。そこで、経済および企業経営・管理等の研究教育を情報技術が支えるという枠組みに注目し、三分野を融合させた新たな学問領域の展開を目指すことに主眼を置いています。情報科学の成果を積極的に導入することにより、経済・経営両系のみで構成された既存の体系では得られない知見と問題処理能力を獲得できると期待されます。



日本文学研究科

日本文学研究科は、次のように教育課程を編成し、実施します。

- ・必修の総合科目としてオムニバスの「日本文学・言語文化総論」を置き、日本の文学と言語文化を総合的に捉える視点を養います。
・日本古典文学・日本近代文学・日本語学・漢文学のそれぞれに特講と演習を設けて必修の基幹科目とし、高い専門知識と研究能力を育みます。
・その他専門と関連の多数の選択科目を配置し、広い視野と深い学識の養成を図ります。
・選択科目の中に「比較文学特論」や「地域文学特論」等を置き、国際文化や地域文化に関する教養の充足を促します。
・徹底した少人数教育と個別の研究指導により、修士論文執筆の力を養成します。



美術研究科

美術研究科では継続的に創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材育成を目的として、次のように教育課程を編成し実施します。

- ・各研究分野において、学生が研究計画を立て自主的に制作を行う専門実習科目を各年次に配置し、高度な専門性と自己表現の可能性を追求する能力を養います。
・基礎理論科目と専門演習科目を配置し、継続的な創作活動に資する広い視野を獲得させます。
・2年次前期に進級制作展、修了時に研究の集大成である修了制作展を研究発表の場として組み込み、社会に向けて発信する能力を養います。
・それぞれの科目においてプレゼンテーションやディスカッションを重視し、自らの制作活動や作品を客観的に見定める力を培います。



経済情報研究科 経済情報専攻（修士課程）

修了要件

本研究科に2年以上在学し、30単位以上の単位を修得し、修士論文審査および最終試験に合格すること。

学位

修士（経済情報）

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状（商業）を既に取得している方で、本研究科で所定の授業科目の単位を修得し、修了要件を満たして修士の学位を授与された方は、高等学校教諭専修免許状（商業）を取得することができます。

長期履修制度

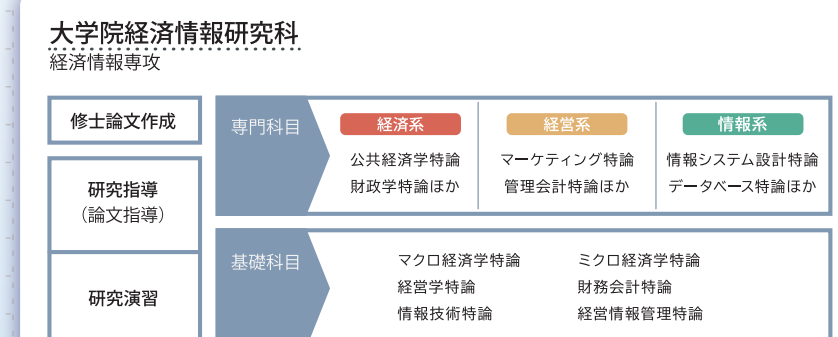
標準修業年限は2年ですが、社会人学生のため、最長4年の長期履修制度があります。

秋入学制度

春入学試験と秋入学試験を分けて実施し、9月入学を可能にしています。

税理士試験について

税理士試験については、一定基準を満たせば「試験科目免除」制度の適用を申請することができます。



教育課程

教育課程編成にあたっては、基礎科目、専門科目、研究演習、研究指導（論文指導）という科目区分を導入し、各々について次の考え方を採っています。

- ①基礎科目として、経済系のマクロ経済学特論、ミクロ経済学特論、経営系の経営学特論、財務会計特論、情報科学系の情報技術特論、経済情報数学特論を配置しています。基礎を重視した科目配置です。
- ②専門科目として、経済系、経営系、そして情報科学系の主要科目を配置しています。中には、地域問題の考察の重要性が増している現状を考慮して、地方財政特論、地域経済論特論が設けられています。また、税理士希望者は、管理会計特論、簿記論特論、税務事例特論などの科目の学修が必要不可欠です。
- ③研究演習を1年次の必修科目とし、経済系、経営系、情報科学系の3系列について配置しています。文献研究や事例研究を通して、演習形式でより広く、より深く学修するものです。
- ④研究指導（論文指導）を2年次の必修科目として、経済系、経営系、情報科学系の3系列について配置しています。ここでは大学院生が各自のテーマに沿って研究報告を行い、修士論文作成のための指導を行うものです。

基礎科目		
マクロ経済学特論 財務会計特論	ミクロ経済学特論 情報技術特論	経営学特論 経済情報数学特論

専門科目			
経済系	計量経済学特論 国際経済学特論 地域経済論特論 日本経済史特論	財政学特論 経済政策特論 社会保障特論 貨幣経済学特論	金融システム特論 地方財政特論 経済学史特論 公共経済学特論
経営系	経営組織論特論 国際経営特論 マーケティング特論	管理会計特論 租税論特論 企業法特論	簿記論特論 税務事例特論
情報系	データベース特論 情報システム設計特論	統計学特論 情報ネットワーク特論	情報管理特論 大規模情報活用特論

研究演習	
研究演習Ⅰ	研究演習Ⅱ

研究指導（論文指導）	
研究指導（論文指導）Ⅰ	研究指導（論文指導）Ⅱ

修了必要単位数	
1. 基礎科目から3科目6単位	
2. 上記1以外の基礎科目を含み専門科目から8科目16単位以上	
3. 研究演習Ⅰ・Ⅱ 計4単位、研究指導（論文指導）Ⅰ・Ⅱ 計4単位	
4. 合計30単位以上を修得すること。	

日本文学研究科 日本文学専攻（修士課程）

修了要件

本研究科に2年以上在学し、合計30単位以上の単位を修得し、修士論文または特定の課題についての研究の成果を提出し、その審査と試験に合格すること。

学位

修士（日本文学）

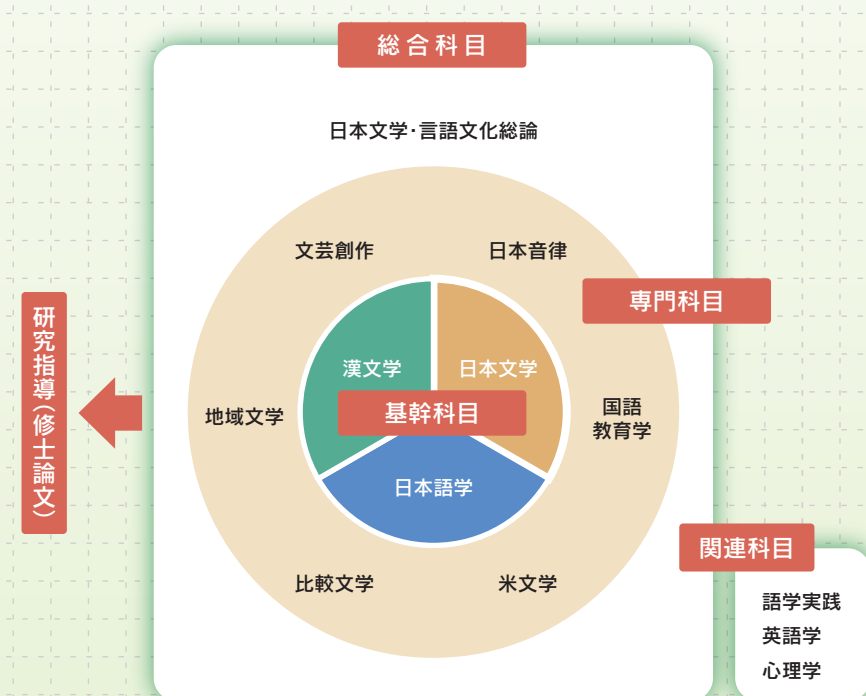
取得できる資格

中学校教諭一種免許状（国語）または高等学校教諭一種免許状（国語）を既に取得している方で、日本文学研究科で所定の授業科目の単位を修得し、修了要件を満たして修士の学位を授与された方は、中学校教諭専修免許状（国語）、高等学校教諭専修免許状（国語）を取得することができます。

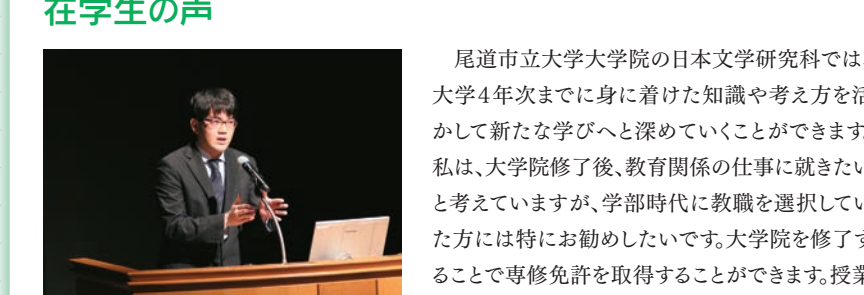
教育課程

教育課程編成にあたっては、基幹科目、総合科目、専門科目、関連科目の区分を設けています。

- ①総合科目
各分野担当者のオムニバスで基幹科目、専門科目、関連科目の枠をこえ、総合的に日本の言語文化を捉える視点を養います。
- ②基幹科目
基幹分野として日本語学、日本文学（古典・近現代文学）、漢文学をおきます。これに関する深い学識と高度な研究方法を修得する特講と演習が必修で配置されます。
- ③専門科目
基幹科目分野の周辺領域として、国語教育学、米文学、比較文学、地域文学、文芸創作分野の特論を配置します。テキストの精読や資料調査をもとにした、論理的思考、言語文化の探究に取り組む科目です。
- ④関連科目
周辺領域の考え方や理論を関連付け、より広範な社会と連携した普遍的な言語文化の探究と創造に取り組む科目です。語学実践、英語学、心理学の特論です。
- ⑤研究指導（論文指導）
言語文化の探究と創造の成果として、各自の研究テーマにそった研究指導（論文指導）により修士論文を執筆します。



在学生の声



横原 帝人（日本文学研究科2年）

尾道市立大学大学院の日本文学研究科では、大学4年次までに身に着けた知識や考え方を活かして新たな学びへと深めていくことができます。私は、大学院修了後、教育関係の仕事に就きたいと考えていますが、学部時代に教職を選択していた方には特にお勧めしたいです。大学院を修了することで専修免許を取得することができます。授業に関して自分の場合、日本文学および言語学、漢文学などと学校教育の在り方を照らし合わせながら学修及び研究を進めていきました。教職を選択していなかった方でも学部時代もっと深く勉強したかった、あるいは学部時代で学修したことをさらに探求したいと考える方には大学院進学は非常にお勧めです。また、大学院に進学する方が少数であるため、自分に合った進捗で進めることができ、先生方から直接ご指導ご鞭撻をいただくことができ大変爽やかな学修ができます。修士論文に関する研究についても、学部時代にお世話になった先生方から多角的な視点から鋭いご指摘をいただくことができ、より自分の研究に磨きをかけることができます。

1週間のスケジュール（1年前期）

	月	火	水	金
2		日本語学特講	日本文学・言語文化総論	日本古典文学特論Ⅰ
3				漢文学特講
4		日本近代文学特講		
5	日本近代文学特論		日本古典文学特論	

総合科目	
日本文学・言語文化総論	

基幹科目			
日本古典文学特論 日本語学特講	日本古典文学演習 日本語学演習	日本近代文学特講 漢文学特講	日本近代文学演習 漢文学演習

専門科目			
日本古典文学特論Ⅰ 日本語音律特論 地域文学特論	日本古典文学特論Ⅱ 国語教育学特論 文芸創作特論	日本近代文学特論 米文学特論	日本語学特論 比較文学特論

関連科目		
語学実践特論	英語学特論	心理学特論

研究指導（論文指導）	
研究指導（論文指導）Ⅰ	研究指導（論文指導）Ⅱ

修了必要単位数	
総合科目 2単位	基幹科目 16単位
研究指導（論文指導）Ⅰ・研究指導（論文指導）Ⅱ 4単位	専門科目及び関連科目 8単位以上
合計30単位以上を修得すること。	

美術研究科 美術専攻（修士課程）

修了要件

本研究科に2年以上在学し、合計30単位以上の単位を修得し必要な研究指導を受けたうえで、修了作品および副論文を提出し、その審査と試験に合格すること。

学位

修士（美術）

取得できる資格

中学校教諭一種免許状（美術）または高等学校教諭一種免許状（美術）を既に取得している方で、美術研究科で所定の授業科目の単位を修得し、修了要件を満たして修士の学位を授与された方は、中学校教諭専修免許状（美術）、高等学校教諭専修免許状（美術）を取得することができます。

教育課程

- 基礎理論科目
広く芸術に関する幅広い視野と識見を養うため芸術の理論・歴史等を学ぶ美術学（芸術学）特講、美術史特講など
- 専門演習科目
日本画材料技法演習、絵画総合演習、デザイン総合演習
- 専門実習科目

修了必要単位数		
基礎理論科目 12単位以上	専門演習科目 2単位以上	専門実習科目 16単位以上
合計30単位以上を修得すること		

修了生の声



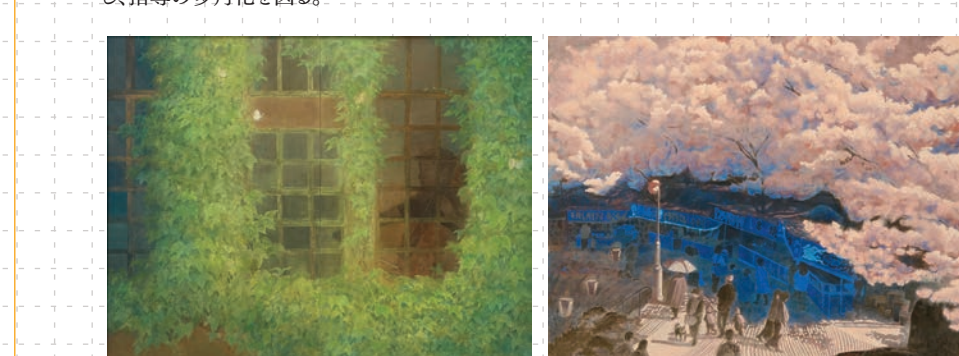
平林 美咲（デザイン研究分野12期生）

私は「本のデザインがしたい」という一心で尾道市立大学に進学し、グラフィックデザインを学びました。大学院では装丁を中心に、紙と文字、印刷の効果について研究していました。先生や同期には、研究分野を越えて相談に乗ってもらったりもするうちに、時には油画や日本画の技法を用いて制作することもありました。休日には街のイベントにも積極的に参加し、コミュニティのつくり方を体感しました。結果的にさまざまな分野のひきだしを作ることができ、今もデザインの役に立っています。今は鈴木成一デザイン室に勤めかたわら、個人でも仕事をしています。商業誌は想像以上に制約が多く、はがゆい思いをする事もありますが、その中で工夫したり、新たな発見を得たりすることもあります。個人では、本ってどう作るの？という方と伴走しながら進めることができ、デザインを身近に感じてもらえたり、ものづくりは楽しいと実感してもらえよう意識しながら制作しています。

絵画研究分野

日本画

日本画では、古典作品の表現、技法および材料の理解と造形感覚を修得させ、各自の個性的な創作力の育成を図る。教育課程の編成に当たっては各人の個性的な創作力の育成を主とした課程と、創作力の育成並びに古典模写を通して技法や材料の研究を深める課程の二本立てとし、指導の多角化を図る。



朝平 敬吾（響鳴） 再興第108回院展 初入選 170×215cm 麻紙、岩絵具、膠
藤本 博（千光寺公園祭り） 後期自由制作 130.3×162cm 麻紙、岩絵具、膠

油画

油画では、創作活動の充実を図るため各自のテーマを踏まえ、独自の絵画表現を追求し、また必要となる技法や素材の研究を促す。さらに、学生と教員との作品を介した相互の対話によって、表現の主体性を育み、それを支える造形志向の背景を考究させる。



片山 めい（ちりめんじゆの男たち） 修了制作 キャンバス、アクリル、油彩、糸 130.3×130.3cm、116.7×80.3cm、80.3×116.7cm、72.7×60.6cm、91×116.7cm
前田 翼/糖花（ironika） 修了制作 キャンバスに油絵の具、アクリル絵の具、ペン、鉛筆、ポリ塩化ビニールなど

デザイン研究分野

デザインの概念は多様な価値観の現代において、色と形で造形されるモノだけではなく、自然との共生など社会全体の構造にまで拡がりを見せている。各自の専門領域の探求とともに、広い視野と柔軟な観察力をもって多岐にわたるデザインの領域を理解できるように、6人の専門領域の指導教員から多様な価値観を学び、さらに外部講師による講義、演習を体験し、各自の研究を多角的な視点から考察し、研究する。



大石 朋代（横断歩道を渡る18人の通行人） 修了制作 イラストレーション